

○働くよろこび

いろいろな職業

働いている人は、それぞれの仕事にどんなやりがいを感じてがんばっているのでしょうか。

のう がく し
能楽師おおしま てる ひさ おおしま きぬ え
大島 輝久さん、大島 衣恵さん

能楽は室町時代から続く伝統芸能です。舞台では*シテや*地謡をたん当しています。



【輝久さん】

能には、ある年れいにならないとできない曲目があるなど、その年代ごとに目標があります。地道なけいこは生がい続きますが、技をきわめ自分を高めるために必要な修行として、毎日努力しています。目標としていた演技に少しでも近づけたときは、やりがいを感じますし、もっと自分を高めたいと思います。



【衣恵さん】

最近では、小学校や文化施設で能の指導をするなど、能を広める活動もしています。能を通して、日本の伝統文化のすばらしさを多くの人に感じてもらい、次の世代にも引きついでいきたいと考えているからです。

600年間、能を支えてきた先ばい方を目標に、これからも情熱をもちつづけていきたいと思っています。

し しょう
師匠からの
ことばおおしま まさ のぶ
大島 政允さん

いちばんたいせつなのはけいこの積み重ねです。能楽師としていろいろな経験をして自分をみがいてほしい、いつでも新せんな気持ちを守らないでほしいと思っています。そして、社会に能をどう発信するか、考えつづけてほしいと思っています。



*シテ…主役。演技をする人。 *地謡…演技をする人の後ろで合唱すること。